

開設67周年記念熊本競輪 注目選手の横顔



牛山 貴広

昨年夏の前橋F1で落車した事で骨盤骨折の重傷、それでも不死身のモーヤンは競輪祭から復帰、今年は6月富山記念で初優勝を飾り、選手生活最高の年を迎えているが、止まらないのは落車癖だけど、その都度元気に復活しての強者。今回の熊本記念は師の武田豊樹、弟々子吉澤純平の3人で元気に参加する。



岩本 俊介

大学迄続けた陸上短距離の運動神経で生活するには、先駆者海老根恵太の後を追うしかないで自転車に転向。デビューからはトントン拍子だったのに、職業病とも言える腰痛に悩み苦しんだのが、昨年後半から6カ月続いたスランプ。それを自ら克服したのが小松島記念からの快進撃。



小松崎大地

性格同様何をやるにも真直ぐで、豪放磊落な千葉の荒波で育った野球小僧は、一途に白球を追い続けた体力を生かし、縁あって競輪選手の道へ。放射能から逃れて他地区に移動してる仲間が居ても、福島の地で同門の真船圭一等と乗り込んだのがこの強馬力。たまに粘る事もあるが、主戦法は先行一本。



南 修二

浪花の仕事人はどんなに凄い事をやり遂げても、さも当然の様にニコリとせず「たまたまです」で済ます真の大物。前を走る自力型に取ってこれ程頼もしい馬力には居らず、番手は守るし、捲りは殺人ブロックで止め、絶対に残しに行く人情は競輪の名物だけど、単騎の時好位に拘らず捲りに行く男の中の男。



山岸 佳太

同県同期の吉田拓矢・鈴木竜士をライバル視して何時の日か必ず追い付いて見せるで孤独な練習を続けてる内に、とんでもないパワーを身に付けたのが今年の快成績。戦法は先行と決めているので、捲りで1着取っても嬉しくない根っからの先行レーサーが、8月の小田原記念で初優勝・初優勝の快挙。今回も4日間先行。



取鳥 雄吾

決して恵まれてるとは言えない体軀だけど、それを補って余りある闘争心に負けん気は、現役の父(敬一)もビックリで感心してる程。家が近い岩津裕介の所にはしょつ中行って整備されてる道場でウエートを一緒にやる事で日々成長、それが今年の大活躍。久留米バンクは好走しかしてないのは大いに楽しみ。



大竹 歩

「大男総身に知恵が回り兼ね」の諺(ことわざ)の逆を行くクレーパーで、何をやるにもちゃんとした考えを持って実践するスケール大きいパワーレーサー。今年は鎖骨骨折で大きく出遅れ、久しく1着は無かったが、5月函館記念で決勝に乗るや、それからは面白い様に1着を量産、内容以上は外国人にも負けられないハロタイム。



和田 圭

大胆不敵な様に見せ掛けているが、その実は繊細で、ちゃんと先輩を立てる常識レーサー。仙台のグループでは若きリーダーとして後輩達の先頭に立ち頑張ってるのが、この安定した成績であり、鋭い決め脚。ここ久留米バンクとの相性は良好だけど、今回は北が他地区に相手薄だが、こんな時に真価発揮する穴男。



和田真久留

素質は誰もが認めている湘南の天才スプリンター、東京五輪を目指すドリームシーカーの一員として新田祐大等と競技の練習をやる事でパワーアップはしているが、その力を出し惜みするのは勿体ない限り。今回の記念は、南関東は数的には不利だけど、力的にはトップクラスに遜色無いので、要は攻める勇氣。



堤 洋

徳島輪界一の人格者。これだけの実績があれば尊大に成ってもおかしくないのに、謙虚で気配り抜群なのがタイトルを取れなかった一因。今年は1月末の松山記念の落車で骨盤骨折の重傷を負ったが、奇跡的に復活。其の後は何事も無かった様に活躍しているのは立派過ぎる。練習は仕事と思ってるから、調子は常に良好。



新井 秀明

ダービー王の父(正昭)に憧れて自転車競技に打ち込み高校時代は敵無して85期に合格、スプリンターとして優秀な成績で卒業したスター候補生は、強豪ひしめく関東に居ればタイトルの一つでも取れたのに、愛の力には勝てず熊本は山鹿に移住、今やすっかり熊本人。熊本記念に呼ばれたからには決勝進出が目標。



松川 高大

熊本輪界のホープとしてデビューした時から大いに期待されたには裏切ってる感否めないが、グループの長としての自覚もあり、趣味は練習の真面目な青年。惚れ惚れする体軀をして居り、現在の気持を忘れず努力を続けられ、或る日突然大ブレイクしそうな予感がしてならないのは、この選手が醸し出すムード。

熊本記念出場予定選手 勝率・連対率・賞金と短評

級班	氏名	年令	府県	卒期	勝率	連対率	当年賞金(万円)	短評
SS	中川 誠一郎	38	熊本	85	.266	.333	2,036	昨年の覇者。連覇へ向けて調整は充分。熊本県民の期待は裏切らない。
SS	武田 豊樹	43	茨城	88	.100	.200	5,845	輪界を代表する真の実力者。熊本記念を獲って、平塚グランプリに前進。
SS	浅井 康太	33	三重	90	.166	.333	6,893	輪史最強のオールラウンダーは久留米バンク得意で、熊本記念は更に。
S1	有賀 高士	48	石川	61	.153	.307	1,157	踏み出しの悪さはテクニックと技術でカバーするリカバリーの名人。
S1	星島 太	46	岡山	66	.000	.062	656	頸痛・腰痛・膝痛に今度はメヌエル氏病と故障の総合商社だけど、気力は充実。
S1	新田 康仁	43	静岡	74	.000	.090	832	大怪我をしても、其の都度奇跡的に復活する不死身のスターは昔と変わらない。
S1	堤 洋	41	徳島	75	.071	.214	1,362	徳島を代表するイケメンは脚だけでなく、人間性は永遠のS・S班。
S1	佐々木 則幸	41	高知	79	.000	.000	920	以前のパワーは期待出来ないが、高知輪界唯一の1班として奮闘中。
S1	萩原 孝之	40	静岡	80	.117	.176	1,464	体は小さいが、天性の瞬発力は健在で、チャンスは絶対に物にする。
S1	合志 正臣	40	熊本	81	.285	.571	1,421	四十路を迎え、差の威力は増し、テクニックは円熟。狙うは熊本記念V3。
S1	松坂 英司	42	神奈	82	.076	.076	1,256	度々重なる落車で心身共にボロボロの状態からは脱却した実力巧者。
S1	西岡 正一	40	和歌	84	.000	.071	1,527	近畿輪界の勢いに乗り遅れてはと、日々努力してるいぶし銀レーサー。
S1	大槻 寛徳	38	宮城	85	.375	.562	1,469	宮城輪界一の練習量が血と成り肉に成り、自在型として大ブレイク中。
S1	新井 秀明	37	熊本	85	.083	.083	809	熊本人として認められた証が初の熊本記念登場。差脚の鋭さは天下一品。
S1	岡田 征陽	37	東京	85	.133	.200	1,004	グランプリ出場を経験してる、大東京を代表するスタープレイヤー。
S1	佐藤 悦夫	38	栃木	86	.000	.181	1,089	腰痛に悩まされているが、出走すれば必ず結果を残すのは4日間狙い。
S1	矢口 啓一郎	37	群馬	86	.133	.200	933	以前の輝きは失せたが、現在は衰えた脚力を補う自在型に変身。
S1	南 修二	36	大阪	88	.117	.235	1,492	輪界屈指のデンジャラスマン。何をやっても玄人受けする人気レーサー。
S1	山田 英明	34	佐賀	89	.300	.400	3,125	葉隠魂で輪界を代表するスタープレイヤーに成長したVの有力候補。
S1	松岡 貴久	33	熊本	90	.083	.166	1,739	地元輪界を中川誠一郎と支える2枚看板。センス抜群の自力で決勝進出。
S1	安部 貴之	34	宮城	92	.285	.357	1,173	点数・成績以上に強い、北日本を代表するオールラウンダーに注目。
S1	和田 圭	31	宮城	92	.000	.166	1,620	マーク術もしっかりしているが、決め脚は更に、展開不問の気鋭。
S1	牛山 貴広	36	茨城	92	.250	.500	2,428	落車が多いのは玉に傷だけど、何時でも特別を取れる脚は作ってる。
S1	岩本 俊介	33	千葉	94	.588	.647	1,358	今期の大ブレイクは本物。メンバーに関係無く、強烈パワーで大暴れ。
S1	松川 高大	28	熊本	94	.250	.375	1,558	未完の大器と呼ばれて早や8年。地元記念で大爆発が期待される。
S1	金子 哲大	28	埼玉	95	.000	.200	988	8月は落車と胃腸炎で調子崩したが、能力の高さは埼玉輪界屈指。
S1	松谷 秀幸	35	神奈	96	.176	.352	2,358	何をやっても絵に成る、神奈川輪界を代表するスタープレイヤー。
S1	深谷 知広	27	愛知	96	.368	.631	4,778	ナショナルチームに呼ばれた事で一段とパワーアップした怪物君。
S1	小松崎大地	35	福島	99	.214	.214	1,767	選手としても人間としても魅力ある先行レーサーは捌き・捲りも強力。
S1	和田真久留	26	神奈	99	.352	.470	1,743	競輪をさせたら下手に糞が付くが、能力の高さは輪界5指に入る若者。
S1	坂本 周輝	26	青森	100	.181	.181	869	不運な失格に泣かされているが、そんな事は気にしないサラブレッド。
S1	古性 優作	26	大阪	100	.166	.666	2,480	8・9月の幹旋停止の間に一段と成長した姿を九州のファンに披露する。